

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

| | | | |
|-------|--|--------------------------------|-------------------------------------|
| 課題番号 | 26220704 | 研究期間 | 平成26年度～平成30年度 |
| 研究課題名 | Imaging habitable zone planets with Subaru Telescope and TMT | 研究代表者 (所属・職) (平成29年3月現在) | Guyon Olivier (国立天文台・ハワイ観測所・RCUH職員) |

【平成29年度 研究進捗評価結果】

| 評価 | 評価基準 |
|---------|---|
| A+ | 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる |
| A | 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる |
| ○ A- | 当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である |
| B | 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である |
| C | 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である |

(意見等)

太陽系外ハビタブルゾーン惑星の撮像を実現するために、すばる望遠鏡用観測装置製作及び30m望遠鏡への基礎開発を目的とする研究であり、若干の遅れがあるものの概ね順調に研究が進展している。すばる望遠鏡用観測装置 SCEXAO の高性能コロナグラフィマスクの開発・製作に成功したこと、大気分散補正法を確立したことは高く評価できる。すばる望遠鏡との連携も緊密に行われている。一方、米国で製作中の MKIDs カメラは若干遅れているが、全体スケジュールへの影響を抑える方策が採られており、これらの最先端技術が組み合わせられて、すばる望遠鏡での観測に供されることを期待する。